ボーリング柱状図

調　査　名　　液状化対策関連地質調査業務委託その18

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.B-4	調査位置	千葉市美浜区磯辺 地区内			北　緯	35° 37' 51.45″
発 注 機 関	千葉市役所　都市局都市部　市街地整備課			調査期間	平成26年12月18日～26年12月22日	東　経	140° 3' 43.23″
孔口標高	TP +3.40m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦　DO-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	20.45m								エンジン	ヤンマー　NFD-9	ポンプ	東邦　BG-3

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	1.70	1.70	1.70		盛土	灰～茶褐			GL-0.05mアスファルト GL-0.05～0.30m砕石（路盤材） GL-0.30m以深砂質土（細砂）
2	1.40	0.30	2.00		埋土・細砂	暗灰			粒子不均一で、シルト少量含む
3					埋土・細砂	暗灰			粒子均一で、含水量は中位 全体に貝殻細片混入し、所々シルト混入
4	-1.05	2.45	4.45						
5	-2.10	1.05	5.50		埋土・シルト	暗灰			貝殻片及び貝殻細片全体に混入 粘性は中位、含水量は中位
6					微細砂	暗灰			粒子均一で、含水量は中位 全体に貝殻片及び貝殻細片点在、所々シルト分含む 7.10m付近、シルト10cm程度挟む 下部に従いややシルト分多く含む
7									
8									
9									
10	-7.30	5.20	10.70						
11					貝殻混じり細砂	暗灰			砂粒子均一で、全体に貝殻片混じる 部分的に少量のシルト分含む
12									
13	-10.10	2.80	13.50						
14					微細砂	暗灰			粒子均一で、含水量は中位 全体に貝殻片混入 所々シルト不規則に含む
15									
16	-13.30	3.20	16.70						
17	-14.30	1.00	17.70		砂質シルト	黒褐			貝殻片極少量含み、全体に砂分含む 含水量は中位
18					微細砂	暗黄褐			粒子均一で、含水量は中位 全体に雲母片含む
19									
20	-17.05	2.75	20.45						

孔内水位m／測定月日：12/19 0.80▽

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.65	1	1	2	4	4.0
2.45	4	4	6	30 14	14.0
3.15	4	3	1	30 8	8.0
4.15	2	2	3	30 7	7.0
5.15	2	3	2	30 7	7.0
6.15	3	4	6	30 13	13.0
7.15	1	5		30 6	6.0
8.15	5	5	5	30 15	15.0
9.15	3	3	3	30 9	9.0
10.15	1	2	1	30 4	4.0
11.15	1	2	2	30 5	5.0
12.15	2	3	5	30 10	10.0
13.15	3	2	4	30 9	9.0
14.15	3	3	3	30 9	9.0
15.15	3	3	5	30 11	11.0
16.15	5	5	7	30 17	17.0
17.15	1	2	2	30 5	5.0
18.15	3	2	6	30 11	11.0
19.15	5	8	9	30 22	22.0
20.15	10	10	10	30 30	30.0

原位置試験

深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
1.65	P-1	P
2.95	P-2	P
3.15	P-3	P
4.15	P-4	P
5.15	P-5	P
6.15	P-6	P
7.15	P-7	P
8.15	P-8	P
9.15	P-9	P
10.15	P-10	P
11.15	P-11	P
12.15	P-12	P
13.15	P-13	P
14.15	P-14	P
15.15	P-15	P
16.15	P-16	P
17.15	P-17	P
18.15	P-18	P
19.15	P-19	P
20.15	P-20	P

室内試験（　）

掘進月日：12/19～12/22